

平成22年度 事業報告
(平成22年4月1日～平成23年3月31日)

I. ビジネス拡大支援事業

1. 企業PR支援

(1) 中国地域ニュービジネス大賞表彰事業

中国地域におけるニュービジネスの健全な育成と振興を図るため、独創的かつ市場性のあるニュービジネスを展開している企業・経営者等に「第18回中国地域ニュービジネス大賞」等の表彰を実施しました。

【第18回中国地域ニュービジネス大賞表彰結果】

名 称	企業名	表彰事業
大 賞	日本綿布 (株) (岡山県井原市)	新鮮な色彩感覚を有する世界初のグラデーシ ョン・デニムの開発
優 秀 賞	(株) ニシエフ (山口県下関市)	純国産初の自由降下式救命艇の開発・販売
	(有) はら屋 (島根県出雲市)	白いもちもちタイ焼きの製造・販売
	光電気通信システム (株) (鳥取県米子市)	世界初の樹脂拡散工法で配光性を高めたLED照 明の開発・販売
特 別 賞	倉敷レーザー (株) (岡山県倉敷市)	自社開発ソフトによる一元管理及びレーザー 加工、精密板金加工の24時間操業体制の構築
	(株) フィールテクノロジー (島根県大田市)	新技術保冷库(氷感庫)の製造・販売
	(株) プラントベース (岡山県倉敷市)	移動式仮設足場によるサイロの保守・メンテ ナンス
	(株) マイナス600ミリボルト (広島県福山市)	水素配合した飲料水・化粧品の製造・販売
	(株) ワコムアイティ (島根県松江市)	畜産農家向け遠隔見守りシステムの製品開 発・販売

また、受賞企業を上部団体である(社)日本ニュービジネス協議会連合会(JNB)主催の「第5回ニッポン新事業創出大賞」へ推薦した結果、企業部門最優秀賞(経済産業大臣賞、社団法人日本ニュービジネス協議会連合会会長賞)に多機能フィルター(株)様※が、優秀賞(社団法人日本ニュービジネス協議会連合会会長賞)に(株)ニシエフ様、(株)ワコムアイティ様が選出されました。(※第7回中国地域ニュービジネス優秀賞受賞)

2. 販路・取引先開拓支援

(1) 販路支援事業 (Win-Win2010)

中国地域の優れた商品・サービスの販路拡大支援および地域経済の発展を目的として、「Win-Win2010」を開催し、主に食品・生活雑貨関連商品等を扱うセラー企業様（製造業者等）とバイヤー企業様（小売・流通業者）に個別商談会の機会を提供しました。

【実施概要】

開催日	9月16日	会場	広島県立広島産業会館 東展示館
バイヤー企業	38社※（百貨店、スーパー、ホームセンター等）		
セラー企業	117社（食品・生活雑貨関連企業）		
個別商談件数	630件		
商談結果（成約見込み）	233件（37.0%）〔バイヤーアンケート集約結果〕		

※参加バイヤー企業様（業態順、敬称略）：【百貨店】（株）天満屋、（株）福屋、【スーパーマーケット】イオンリテール（株）、（株）イズミ、（株）エブリイ、（株）サンリブ、（株）天満屋ストア、（株）仁科百貨店、（株）ハローズ、（株）フジ、（株）フレスタ、マックスバリュ西日本（株）、（株）マルイ、（株）マルナカ、（株）三原スーパー、（株）モリヤマ、（株）ユアーズ、【専門店】（株）東急ハンズ、【コンビニエンスストア】（株）セブンイレブン・ジャパン、（株）ファミリーマート、（株）ローソン中四国ローソン支社、【ホームセンター】コーナン商事（株）、（株）ジュンテンドー、（株）ナンバ、【その他】マツダエース（株）、【カタログ販売】生活協同組合連合会コープ中国四国事業連合、【ネット通販】（株）ぐるなび、（株）ダイエースペースクリエイト、（株）ファミマ・ドット・コム、楽天（株）、【卸売】伊藤忠食品（株）、中村角（株）、（株）日本アクセス、（株）菱食、【企業間取引サイト運営等】（株）アイケイ、アリババマーケティング（株）、企業組合東京セールスステップ（東京都知事認可企業組合）、（株）ラクーン

(2) 中国NBC Webマーケット「ビジネス応援サイト『商い知恵袋』」

会員様専用サービス強化の一環として、本年度から運用を開始しました。本サイトは、会員様に自社や商品・サービスのPR、モニター募集など自由な内容で掲載していただき、閲覧を広く一般に開放することで、会員様の販路・取引先開拓を支援するものです。例えば、自社HPを持っていない会員様には自社のPRサイトとして活用していただいております、また、すでに自社HPを有している会員様には、自社サイトでは十分に表現できない自社のトンガリ（例：社長や社員の紹介、イチオシの商品・サービス等）を掲載し、自社HPへの誘導を図るなど、多様な形で活用して頂いております。

【掲載企業における主な成果】

- ・掲載した商品（ステンレス製ゴミステーション）について、複数の新聞メディアから取材の申し入れがあり、記事が掲載された。
- ・掲載したステンレス加工技術について問い合わせがあり、試作品を作り提案した。
- ・塗装技術の動画を掲載したところ、海外からオファーがあり、商談中。
- ・その他、仕事の依頼や商品購入の申し入れを受けた。 等

3. 調査研究支援

(1) ニュービジネス研究会

会員様から自社事業の範囲を超えた新しい取組みや課題解決を指向した提案を受け、共に取り組む意欲のある企業を募り、研究会を実施しました。（実施件数：4件）

1) 「首都圏・海外にも通用する「鳥取初」「鳥取発」の商品の規格戦略の研究会（鳥取）

◆主旨：「鳥取の地域資産」と「鳥取発」の商品は多数あるがインパクトに欠けるため、

「TOTTORI COLLECTION」として纏めるなど、ブランディング・デザイン戦略を中心にブラッシュアップすることで、鳥取企業の発展と活性化につなげる。

◆実績：H21年8月に立上げ、22年には「貴婦人プロジェクト」との名称にて活動中

2) 環境マーケティング研究会（広島）

◆主旨：環境マーケットの拡大に伴い環境商材の開発が盛んであり、広島県の中小企業も市場開拓に向け相当な努力をしているが、一方で成功事例が乏しいのが実情である。中国NBCの会員企業についても同様に開発した環境商材について、例えば販売するための仕組みづくりなど様々なマーケティング活動が必要とされていると考える。そこで、環境関連の商材を扱う企業をメンバーとし、効果的なマーケティング手法を研究する。

◆実績：6回開催

回	日程	概要	出席者数
1回	3月 8日	・講演「環境マーケティングの現状と課題」 講師：広島修道大学 豊澄智巳准教授 ・事業紹介：(株)成研、(株)グリーンテクノロジー ・意見交換	16名
2回	4月19日	・参加者自己紹介 ・課題の共有	14名
3回	5月17日	・事例紹介：(株)タテイシ広美社「LED看板」 ・検討会議	14名
4回	6月21日	・事例紹介：(株)文華堂「紙リサイクルボックス」 ・検討会議	11名
5回	7月12日	・ガストピア見学 ・事例紹介：丸山建設(株)「風水エコ住宅」 ・検討会議	17名
6回	8月 9日	・事例紹介：ガイア協同組合 竹炭を利用した緑化 ・検討会議	16名

3) ビジネススキル共同研究会（岡山）

◆主旨：企業の経営資源である「ヒト」にスポットを当てた研究会を開催し、自らのスキル向上や課題発見はもとより、他のメンバーの人間力等の観察・交流等を通じて、大きな意味でのビジネススキルを研究する。

◆実績：5回開催

回	日程	概要	出席者数
1回	8月 4日	・講義：「コーチング」 講師：(有)スカイワード代表取締役 寺崎光宣氏	9名
2回	9月 8日	・講義：「ストレングス・ファインダー」「タイムマネジメント」 講師：同上	8名
3回	10月 6日	・講義：「SWOT分析」 講師：同上	9名
4回	11月 4日	・講義：「リーダー力」 講師：同上	9名

5回	1月12日	・全体総括	8名
----	-------	-------	----

4) 表面処理技術商店街「ぴか☆まくモール」(広域)

◆主旨：平成19年の中国経済産業局からの受託事業「中国地域産業クラスターフォーラム事業」の一環として立ち上げた。受託事業終了後も、付加価値の高い技術を有する表面処理事業者とユーザーメーカーの連携・交流を促進し、イノベーションや新事業創出を図ることを目的として継続運営している。

◆実績：2回開催(平成19年度から継続実施中)

回	日程	概要	出席者数
10回	8月6日	<ul style="list-style-type: none"> ・柿原工業見学 ・微生物腐食への研究報告 ・スマートプロセス情報提供 ・金属ガラス溶射技術報告 	10名
11回	3月24日	<ul style="list-style-type: none"> ・日本パーカーライジング広島工場見学 ・海洋構造物腐食対策研究 等 ・スマートプロセスおよびナノ粒子を用いた新しい溶射プロセスなどについて 講師：大阪大学接合科学研究所 桐原聡秀先生	10名

(2) 先進地域調査

(社)日本ニュービジネス協議会連合会が、地域間・会員交流の立場から、日中両国のビジネス等経済交流の促進に資することを目的に企画した「訪中国経済ミッション・上海万博」について、当協議会会員から希望者を募り、会員企業2社(3名)および事務局1名が参加しました。(全国10協議会から57名が参加)

日程	平成22年6月24日(木)～27日(日)
内容	(1日目)結団式～企業視察(1箇所)～交流会 (2日目)講演会～企業視察(3箇所) (3日目)上海万博視察 (4日目)移動

II. 経営改革支援

1. 人材・リクルート支援

(1) 高度実践留学生育成事業(アジア人財資金構想事業)

中国地域における中小企業のアジア地域を中心とした海外事業展開の加速に伴い、日本と現地の懸け橋となる優秀な人材の確保が重要との観点から、中国経済産業局から本事業を受託し、日本企業に就職意志のある、能力と意欲の高いアジア人留学生に対しての教育および就職活動(人材マッチング)の支援などの活動を行いました。とりわけ、昨年度構築した就職支援システムについては、試験運用を実施し、企業・大学・留学生がより参加しやすいよう、機能面でのブラッシュアップを図るとともに、事業終了後も同システムを継続して確実に運用するための体制づくり

も行っていきます。

また、人材マッチングの成約率を高めるためには、より多くの企業・学生に参加してもらうことが重要であることから、企業については、当協議会会員企業様や他地域の管理法人に参加依頼を行い、大学については、域内の大学や他地域の管理法人へ参加要請を展開しました。その結果、3月31日現在で大学2校、企業17社の登録があり、今後更に増加していく見込みです。

「留学生就職支援システム」⇒<http://www.ajinzai-chugoku.jp/>

就職支援システムの構築	
成 果	・就職支援システムのブラッシュアップを図ることができ、より企業、大学、留学生が参加しやすいシステムを構築することができた。
課 題	・就職支援システムを運用していくにあたり、基盤となる体制、当面の財政面について、早急に確立する必要がある。ランニングコストについても、企業、大学からの受益者負担を財源とするモデルを構築していく必要がある。

2. 中小企業支援

中小企業庁の施策である「中小企業応援センター事業」を活用し、会員企業様からの各種相談（新事業展開、創業、事業再生、事業承継、ものづくりの高度化等）のうち、特に専門的な知識や技術が必要な課題・悩みごとなどに対し、最適な専門家を派遣し、適切な助言や支援を実施しました。また、同事業では対応できない事項（大企業からの相談事項）についても、プロパー事業として専門家を派遣しております。

【中小企業応援センター事業の実績】

業 務	主な実績
相 談 業 務	・支援内容：応援コーディネーターによる、課題解決に必要なポイントの絞り込み、専門家派遣や他支援機関の施策への推薦等 ・対応件数：77件 ・訪問回数：延べ141回（1.8回／相談）
専門家派遣業務	・支援内容：相談内容に応じた中小企業診断士などの専門家派遣による、創業・事業承継関係・販路開拓等の支援 ・対応件数：46件 ・訪問回数：延べ115回（2.5回／相談）

【プロパー事業の実績】

業 務	主な実績
専門家派遣業務	・支援先：製造業者 ・支援内容：生物学的有効性評価試験に関わる技術指導 ・対応件数：1件

3. 情報提供

(1) ツールを活用した情報発信

1) メールでの情報発信（情報提供数 計220件）

国や自治体、連携する各種経済団体のうち、会員企業様に役立つ情報をタイムリーに発信するとともに、会員企業様の各種イベントや新商品等のPRに資する情報を、会員企業様からの情報提供

に基づき発信しました。また、「見やすさ」の向上を図るため、メールの件名で概ね内容が伝わるよう工夫しました。事務局員の「顔が見える」よう、「事務局スタッフのつぶやき」も随時発信しています。

【参考：メール発信区分】

- ・「会員情報ステーション」：会員企業様のPR等
 (例)「セミナー／中国NBC」：当協議会や中国経済産業局、(独)中小企業基盤整備機構など、会員企業様を支援する団体等の情報
- ・「NBCトピックス」：都度配信した情報を2週間分まとめたダイジェスト版(事務局スタッフのつぶやきを含む。頻度：1回／2週間)

2) ホームページによる情報発信

当協議会の概要や会員名簿、協議会の活動状況、会員様に役立つ情報など、会員企業様が知りたい情報を豊富かつタイムリーに掲載しています。是非一度ご覧ください。

○<http://www.cnbc.or.jp/> 「中国NBC」で検索してください。

(2) 講演会・セミナー等の開催

支部単位を超えた会員交流事業として、国や自治体と連携を図りながら、会員企業様等の進化と革新の一助となるよう、講演会等を開催しました。

【開催実績】

日 程	概 要	参加者数
6月 2日	○パネル討論会「元気な企業の元気な秘訣～中小企業の新たなる潮流」 ■パネリスト ・安田精工(株)代表取締役 安田 晴雄 氏 ・(株)バルコス代表取締役社長 山本 敬 氏 ・医療法人社団いでした内科神経内科クリニック院長 井手下 久登 氏 ■モデレーター ・中国経済産業局長 長尾 正彦 氏 □会場：ANAクラウンプラザホテル広島	214名
2月25日	○講演会「地域経済の活性化に向けて」 講師：学校法人NSGグループ代表、(株)アルビレックス新潟取締役会長、(社)日本ニュービジネス協議会連合会副会長 池田 弘 氏 ○パネルディスカッション「地域経済活性化に向けた方策について」 ■パネリスト ・学校法人NSGグループ代表 池田 弘 氏 ・広島県知事 湯崎 英彦 氏 ■モデレーター ・早稲田大学アントレプレヌール研究会理事 西澤 民夫 氏 □会場：リーガロイヤルホテル広島	166名

Ⅲ. ネットワーク拡大支援

1. 会員交流

(1) 支部拡大・交流事業

各支部での会員相互の交流や啓発、学びの機会創出等を目指し、役員会や講演会等を開催しました。

【実績】開催回数 計21回、参加者数 計767名

【各支部での開催実績】

支部	日程	テーマ	参加者数
鳥取	4月16日	■トークセッション ～どうなる鳥取、どうする鳥取、どうしたい鳥取～ 『地域の活性化は元気な企業のネットワークから』 ・鳥取県知事 平井 伸治 氏 ・中国経済産業局局長 長尾 正彦 氏 ・(社)中国地域ニュービジネス協議会会長 松坂 敬太郎 氏 ・(財)とっとり地域連携・総合研究センター理事長 道上 正規 氏 □会場：ホテルニューオータニ鳥取	103名
	12月20日 【女性部会併催】	■第1部：講演会「マイドリームプロジェクト『夢叶えるもの』」 講師：ポエック(株) 代表取締役 来山 哲二 氏 ■第2部：食事会「華麗なる宴」 小杉具也・小杉伸江氏によるペアダンスエキシビション □会場：ホテルニューオータニ鳥取	118名
	2月8日	■環境ビジネスセミナー 「オヤジの話を聞いてくれ！いなかお洒落と「きなり村」」 ～廃棄物からの有機資源と循環農業について～ 講師：(株)カンサイ代表取締役社長 川村 義勝 氏 □会場：ホテルサンルート米子	50名
島根	7月27日	■役員会「支部の活性化及び支部事業についての意見交換会」 □会場：松江市内	8名
	8月17日	■講演会「今こそ必要なのはニュービジネスの精神である」 講師：(社)中国地域ニュービジネス協議会会長 松坂 敬太郎 氏 □夕景湖畔すいてんかく	34名
岡山	10月29日	■講演会「今こそ必要なのはニュービジネスの精神である」 講師：(社)中国地域ニュービジネス協議会会長 松坂 敬太郎 氏 ■パネルディスカッション 「元気な企業の元気な秘密～ニュービジネスの風～」 ・(社)中国地域ニュービジネス協議会会長 松坂 敬太郎 氏 ・ブリリアントアソシエイツ(株)代表取締役 福嶋 登美子 氏 ・ナカシマプロペラ(株) 中島 義雄 氏 □会場：岡山コンベンションセンター	55名
	3月11日 【女性部会併催】	■視察：「瀬戸内国際芸術祭の魅力 in 豊島」 ～企画・運営：(株)ベネッセコーポレーション様～	20名

支部	日程	テーマ	参加者数
広島 東部	8月10日	<p>■第1回定例会 議題：平成22年度の活動方針及び活動計画</p> <p>■講演会「いまこそ必要なのは「ニュービジネスの精神」である！」 (社)中国地域ニュービジネス協議会会長 松坂 敬太郎 氏 □会場：福山大学駅前キャンパス宮地茂記念館</p>	29名
	2月16日	<p>■講演会・セミナー「どうやって海外市場を開拓するか～インターネットから始める海外市場開拓～」</p> <p>■講演Ⅰ：「まず相手に知ってもらうこと、ニーズがどこにあるのかを知ることが必要」 講師：アリババマーケティング(株)第1営業部西日本課長 長島 直樹 氏</p> <p>■講演Ⅱ：「日本の企業が海外に進出する際に生じる摩擦～文化・歴史に根差したモラル、価値観の違い～」 講師：福山大学 助教 藤原 美樹 氏</p> <p>■講演Ⅲ：「海外ビジネスの難しさについて～日本(福山)と中国(青島)との間における実際のビジネスについて～現地でビジネスするなら、現地に合わせる必要がある」 講師：(株)ハイマン翻訳代表取締役 ハイマン・ブライアン 氏</p> <p>■講演Ⅳ：「海外展開を成功させるためには～府中家具の技術を活かした海外販路開拓の取組みとその実績」 講師：佐々木木工(株)代表取締役 川本 一徳 氏</p> <p>■講演Ⅴ：「世界経済から見た日本企業の今後のあり方について」 講師：福山大学 教授 富士 彰夫 氏 □会場：福山大学駅前キャンパス宮地茂記念館</p>	46名
	12月13日	<p>■講演会「どうやって自社の強みをPRするか～動画配信による情報流通の仕掛け作り～」</p> <p>■講演Ⅰ：「デジタルメディアと組織、地域の新しい結びつき方を探る」 講師：福山大学 人間文化学部 メディア情報文化学科 専任講師 飯田 豊 氏</p> <p>■講演Ⅱ：「必要なのは、適切な情報発信と外需獲得！」 講師：(有)GyoLightHouse 代表取締役社長 笠原 暁 氏</p> <p>■事例発表：「ビデオキャスティングを利用して得られた実績」 発表者：(協)環境改善推進センター開発主事 宮岸 章 氏 □会場：福山大学駅前キャンパス宮地茂記念館</p>	39名
広島	6月2日	<p>■理事会「平成22年度の活動計画」 □会場：ANAクラウンプラザホテル広島(打合せコーナー)</p>	10名
	6月16日	<p>■理事会「平成22年度活動の具体的計画」 □会場：(社)中国地域ニュービジネス協議会 会議室</p>	10名
	7月27日 【女性部会併催】	<p>■『中国NBC Passion Party 2010 ①』 「成功事例から学ぶ～ニュービジネス大賞等受賞企業は 今～」 講師：ブリリアントアソシエイツ(株)代表取締役 福嶋 登美子 氏 □会場：八丁堀シャンテ</p>	27名

支部	日程	テーマ	参加者数
	9月15日 【女性部会併催】	■『中国NBC Passion Party 2010 ②』 「男前に“タイ料理を創る” VS “タイの経済と文化を学ぶ”」 講師：料理コース 元広島女学院大学留学生 ジットナパー・ムエンウエン 氏 経済・文化コース 広島タイ交流協会事務局長 岩谷 洋 氏 □会場：広島市留学生会館	25名
	10月21日 【女性部会併催】	■『中国NBC Passion Party 2010 ③』 「新たな内需振興策のあり方～成熟経済のヒト・モノ・カネのストックを活かせ～」 講師：みずほ総合研究所(株)調査本部 政策調査部主任研究員 岡田 豊 氏 □会場：八丁堀シャンテ	24名
	11月10日 【女性部会併催】	■『中国NBC Passion Party 2010 ④』 「男前な顔を創る～自らのブランド力アップのノウハウがここにある～」 講師：資生堂販売(株) 中島 双美 氏 □会場：八丁堀シャンテ	19名
	12月9日 【女性部会併催】	■『中国NBC Passion Party 2010 ⑤』 「報道の現場から学ぶ」 講師：(株)テレビ新広島 三上 絵里 氏 □会場：八丁堀シャンテ	26名
	2月8日 【女性部会併催】	■『中国NBC Passion Party 2010 ⑥』 「成功事例から学ぶ～ニュービジネス大賞等受賞企業は 今～」 “夢はひとりでは実現できない～私のリーダーシップスタイル～” 講師：(株)アスカネット代表取締役 福田 幸雄 氏 □会場：八丁堀シャンテ	38名
	3月9日	■フリートーク「中国NBC Passion Party 2010～その価値とポテンシャルについて考える」 参加者：広島支部理事およびネットワーク拡大意欲的な会員 □会場：(社)中国地域ニュービジネス協議会 会議室	12名
	山口	8月2日 【女性部会併催】	■講演会「坂本龍馬に学ぶ！成功脳の作り方」 講師：広島eマガジン編集長 長谷川 嘉秀 氏 □会場：ホテルサンルート徳山
2月15日		■講演会「繁栄を求めて業態変更～わが社の場合～」 講師：サマンサジャパン(株)代表取締役会長 小野 英輔 氏 □会場：ホテルサンルート徳山	48名

(2) 女性部会活動

各支部の女性の経営者や起業家を主なメンバーとして、女性部会独自の活動を展開しました。

【実績】開催回数：計17回

支部	日程	テーマ	参加者数
鳥取	12月20日 【支部行事併催】	■講演会・交流会「すてきに集う鳥取の夕べ」 □会場：ホテルニューオータニ鳥取	118名
島根	4月8日	■講演会・交流会「世界情勢や金融機関を取り巻く環境について」 講師：山陰合同銀行 取締役頭取 古瀬 誠 氏	13名

支部	日程	テーマ	参加者数
		□会場：松江市内	
	3月 4日	■講演会・交流会「地域大学の取り組みや役割などについて」 講師：島根大学長 山本 廣基 氏 □会場：松江市内	13名
岡山	4月21日	■総会：22年度企画の立案 □会場（有）フイユ ミーティングルーム	10名
	5月26日	■セミナー「アロマセラピーでストレス発散」 講師：ダイヤ工業（株）専務取締役 松尾 洋子 様 □会場：岡山天神山文化プラザ	7名
	7月21日	■セミナー「ツイッター&Web活用法」 講師：My Life Design（株） 佐藤 香名 様 □岡山県生涯学習センター	8名
	9月17日	■視察「（株）林原生物化学研究所見学ツアー」 講師：（株）林原 広報企画グループ 村嶋 様 □会場：（株）林原生物化学研究所	8名
	10月20日	■視察「岡山支部女性部会 会員企業会社訪問」 講師：（株）脇木工 専務取締役 脇 容子 様 □会場：（株）脇木工	8名
	1月28日	■視察「旭川荘 特別顧問 青山先生 訪問」 講師：社会福祉法人 旭川荘 特別顧問 青山 興司 様 □会場：旭川荘	6名
広島	4月15日	■ビジネス交流カフェ vol.1 テーマ：『会って話して聞いて～もっとお友達になりましょう～』 （会員相互の紹介およびPR） □会場：アンデルセン	11名
	5月20日	■ビジネス交流カフェ vol.2 テーマ：『輝くワタシに進化する方法』 講師：a i カウンセリングセンター代表 村川 よしみ 氏 □会場：（社）中国地域ニュービジネス協議会 会議室	11名
	8月25日	■ビジネス交流カフェ vol.3 テーマ：『小さな会社の段階的成長を促すコミュニケーションとは？』 講師：（株）ウーブル・ロールモデル研究所 代表取締役社長 十倉 純子 氏 □会場：八丁堀シャンテ	23名
	1月13日	■ビジネス交流カフェ vol.4 テーマ：『運気を上げてパワーアップ！！』 講師：風水生活 代表 橋 玲華 氏 □会場：（社）中国地域ニュービジネス協議会 会議室	8名
山口	5月 7日	■総会：21年度の振り返りと22年度企画の立案 □会場：山口グランドホテル	7名
	6月25日 ～26日	■視察・講演会【各支部女性部会合同参加企画】 「スタディツアーin山口」～山口をまるごとかぶりつき～	16名

支部	日程	テーマ	参加者数
		■講演会・工場見学：和洋菓子専門店「果子乃季」 講師：あさひ製菓（株）代表取締役社長 坪野 恒幸 氏 ■ミニ講演会「我が社の経営」 講師：（社）中国地域ニュービジネス協議会副会長 藤麻 功 氏 □会場：柳井～周防大島～柳井	（内訳） 鳥取2名 岡山4名 広島3名 山口5名 事務局2名
	11月9日	■セミナー「自分の香り探し☆アロマスプレーを作ろう」 講師：アロマリラックス代表 栢田 久美子 氏 □会場：サーラマンジェ・ドゥ・クール	12名
	1月26日	■セミナー「今一度見直そう！部下の能力を引き出すマネジメント」 講師：（株）ウーブル・ロールモデル研究所 代表取締役社長 十倉 純子 氏 □会場：カリエンテ山口	17名

2. 連携促進

- (1) （社）日本ニュービジネス協議会連合会（JNB）・各地域ニュービジネス協議会との連携活動
 JNBを通じ、各地域の協議会および会員企業様との交流・連携を図り、情報収集を行いました。
- (2) 中国地域内外関係機関との交流および協力
 会員様が抱える課題解決のため、中小企業基盤整備機構・各県・各種支援機関・地域金融機関等との連携を図り、会員支援を実施しました。

3. 異業種交流

- (1) 広域・異業種交流事業（広島5：01クラブ）
 アフターファイブに気楽に集まり、人脈づくりや連携強化に役立てていただく事業です。平成15年度から継続開催し8年目となる今年度は、幹事会社様のご協力を得ながら6回開催し、参加者総数は約900名となりました。
 また、幹事会社様も、広島5：01クラブ開催に合わせてセミナーを開催するなど、本事業と連携した企業PR等に活用していただいております、今年度は新たにリコージャパン様も幹事会社として参加されました。

【開催実績】

日程	幹事会社様	場 所	参加者数
5月14日	広島ガス（株）	広島ガスガストピア	163名
7月2日	（株）ソアラサービス	ソアラビジネスポート	92名
9月9日	J A広島 中央会	J A広島中央会 J Aビル	203名
10月19日	（株）中電工	平和大通り電気ビル	199名
11月15日	（株）広島銀行	広島銀行ハイビル21	109名
12月6日	リコージャパン（株）	広島ビジネスタワー	109名
計	—	—	875名

IV. 新事業創出支援

1. 研究開発・事業化支援

(1) 中国地域水ビジネス推進事業

国内または海外において実績のある水関連技術を有する日本国企業に対し、多種多様な専門家集団（支援メンバー）とのネットワークを活用し、ニーズ情報を蓄積し、新たなビジネスルートの提案やビジネスリスク低減を図り、アジアを中心とした水ビジネスをサポートしました。

【主な実績】

■協議会メンバー：会員企業 17社 / 支援企業 23社

■会員からの支援依頼状況：2件

■周知・参加した主なイベント

- ・駐日大使館意見交換会（広島市）
- ・中国環境ビジネスセミナー（福岡県北九州市）
- ・（社）海洋産業研究会 創立40周年記念論文の募集（支援メンバー）
- ・中国清華大学教授、環境系企業との交流会（広島市）
- ・環境ビジネス展示会エコテクノ2010（福岡県北九州市）
- ・2010環境産業技術事業化商談会（東京）
- ・展示会 2010 Inno-Tech Show（韓国）
- ・2010中国水博覧会（中国北京）
- ・九州-遼寧省(大連・瀋陽)環境ビジネスミッション
- ・商社とのビジネスミーティング（広島市）

(2) バイオマス・ファインケミカルズ・リファイナリー／グリーン・エネルギー・システム構築事業

1) 高度利用に係る基盤技術研究会

バイオマスを原料とするファインケミカルズ抽出に関連する事業を推進するにあたり、前処理技術等のボトルネックとなっている要素技術に関する研究部会を「竹資源の利活用事業化研究会」として、計9回開催しました。（内訳：微粉碎技術研究部会2回、抽出技術研究部会2回、酵素利用技術研究部会5回）

【主な実績】

竹資源の利活用事業化研究会（微粉碎技術研究会） 【2回開催】	日程	① 12月16日 ② 3月24日
	会場	①中国経済産業局 ②広島県内企業 会議室
	概要	①-1 珪藻への竹炭利用技術 -2 Fe-C複合粒子の特性～藻場再生用途への展開～ -3 廃牡蛎殻竹材の炭化技術 -4 鉄／カーボンブリケットの活用例 ②-1 陸上系バイオマスと水産系バイオマスの混合物製造条件について -2 微粉碎条件、混合条件について -3 藻の生育基礎実験の経過について -4 発色法分析結果について -5 助成金研究提案状況について -6 23年度の実施計画について
竹資源の利活用事	日程	① 11月16日 ② 1月13日

業化研究会（抽出技術研究会） 【2回開催】	会場	①広島県内企業 会議室 ②中国経済産業局
	概要	①-1 チップ製造設備について ・竹材から機能性成分の分離・抽出用チップを製造する設備の据付け状況の報告 ・調整運転計画 ・今後の事業計画 -2 香川県三豊市の訪問について ②-1 竹資源の伐採事業について -2 竹資源の繊維化・粉碎事業について -3 竹資源のケミカル利用について -4 竹抗菌オイルの製造について -5 バイオマスからの超臨界抽出について
竹資源の利活用事業化研究会（酵素利用技術研究会） 【5回開催】	日程	① 9月24日 ② 9月30日 ③ 1月14日 ④ 2月21日 ⑤ 3月 4日
	会場	①～⑤広島県内企業 会議室
	概要	① 陸上系バイオマスと水産系バイオマスの混合物を原料とする酵素利用による資源化の検討他 ② 陸上系バイオマスと水産系バイオマスの混合物製造条件の検討他 ③④藻の生育基礎実験の経過について他 ⑤ 竹チップの乾燥時におけるカビ発生の抑制対策について他

2) バイオマスセミナー・マッチング交流会

バイオマスを原料とするファインケミカルズ抽出に関連する事業化推進にあたり、その関連技術について、研究開発力や高度な先端技術を有する研究機関、企業によるセミナーおよびマッチング交流会を（社）中国地方総合研究センターと連携を図りながら開催し、国内外の地域から技術・人材・企業等呼び込み、触媒効果により事業創出・育成の加速を図りました。

【微粉碎技術セミナー】

日 程	11月30日	会 場	広島合同庁舎	参加者数	31名
概 要	1. 講演 1) 「微粉碎技術の概要とナノファイバーのアプリケーション」 産業技術総合研究所 バイオマス研究センター 水熱・成分分離チーム長 主任研究員 遠藤 貴士 氏 2) 「セルロースナノファイバーを活用した強化ゴム材料の開発」 住友ゴム工業(株) 材料開発本部 材料企画部 課長 市川 直哉 氏 3) 「カニ殻からのキチンナノファイバー製造技術およびその利用」 鳥取大学大学院 工学研究科 化学・生物応用工学専攻 講師 伊福 伸介 氏				
日 程	2月22日	会 場	ピュアリティまきび	参加者数	45名
概 要	1. 講演 1) 「セルロースナノファイバーの製造と利用」 京都大学 生存圏研究所 生物機能材料分野 教授 矢野 浩之 氏 2) 「セルロースナノファイバーの食品用途」 神戸女子大学 家政学部 教授 山根 千弘 氏 3) 「セルロース関連製品の食品分野への応用」 日本製紙ケミカル(株)技術本部開発研究所江津駐在 主席研究員 佐藤 伸治 氏				

【酵素利用技術セミナー】

日 程	12月 9日	会 場	広島合同庁舎	参加者数	27名
概 要	1. 講演 1) 「日本のバイオマスをどのように使うか」 岡山大学 農学部 学部長・教授 神崎 浩 氏 2) 「バイオマス利用に資する酵素と酵素大量生産系の構築について」 (独) 酒類総合研究所 研究企画知財部門 部門長 家藤 治幸 氏 3) 「酵素を利用した商品開発例」 日本製紙ケミカル(株) 技術本部開発研究所江津駐在 所長代理 町田 誠 氏				

【バイオマス・ファインケミカルズ・リファイナリーシステム構築に向けたセミナー】

日 程	3月 8日	会 場	メルパルク広島	参加者数	52名
概 要	1. 講演 「木質バイオマスからのクリーン燃料・ケミカル併産システムの研究開発」 (独) 産業技術総合研究所 バイオマス研究センター 研究センター長 坂西 欣也 氏 2. 技術セミナー 1) 「天然繊維の改質によるグリーンコンポジットの高靱化・高強度化」 山口大学大学院 理工学研究科 システム設計工学系学域 機械工学領域 材料信頼性工学研究室 教授 合田 公一 氏 2) 「セルロースウイスキー複合繊維の研究開発」 信州大学 繊維学部 ナノテク高機能ファイバー連携・融合拠点特任教授 網屋 繁俊 氏 3. バイオマス・リファイナリー関連事業成果報告 (パネルディスカッション) (株) 三菱化学テクノロジーリサーチ 渡辺 純哉 氏 (社) 中国地域ニュービジネス協議会 竹内 善幸 氏 (株) シーズ総合政策研究所 藤原 啓 氏 (株) 三菱総合研究所 川村 雅人 氏				

【マッチング交流会】

① 専門展示会「びわ湖環境ビジネスメッセ」への出展

クラスター参加企業の技術ポテンシャルを効果的にPR・マッチングすることを目的に、具体的なビジネスに直結する可能性の高い専門展示会への出展を支援しました。

展示会名称	日 程	会 場	支援 企業数	来場者数
「びわ湖環境ビジネスメッセ」	10月20 ～22日	滋賀県立長浜ドーム	5社	36,580名

② 環境関連クラスター合同交流会の開催

下記3機関が連携し、新たに「環境ビジネス交流会」を設立し、各地で以下のビジネス交流会を開催しました。そこで、本事業に関連して「バイオマス・ファインケミカルズ・リファイナリー」関連の技術、製品等のビジネスマッチングを実施しました。

【連携先】

- ・環境ビジネスKANSAIプロジェクト 近畿経済産業局
- ・循環・環境型社会形成プロジェクト 中国経済産業局
- ・OKINAWA型産業振興プロジェクト 内閣府 沖縄総合事務局

その他、他地域で開催された展示会へ参加し、ビジネスマッチングを実施しました。

- ・東北エコプロダクツ展2010（平成22年10月14～16日）
- ・沖縄環境ビジネス交流会（平成23年2月16日）

③ 「中四国環境ビジネスネット（B-net）」との連携による交流会の開催

昨年に引き続き、(財)岡山県産業振興財団と連携し、「中四国環境ビジネスネット（B-net）フォーラム2010」を開催し、中四国地域を中心とした20団体によるポスターセッション、講演、交流会などを実施しました。

- ・開催日：11月12日
- ・会場：岡山ロイヤルホテル
- ・参加者：約200名

3) 新エネルギーセミナー・新エネルギー事業塾

【新エネルギーセミナー】

(社)中国地方総合研究センターと連携し、広く新エネルギーに関する基礎的な情報も含め、地域特性を活かした採算性及び持続性のある新エネルギー事業の始め方、課題の解決方法などに資する「新エネセミナー」を、中国地域各地で開催しました。

日程	10月 8日	会場	福山市男女共同参画センター	参加者数	114名
概要	<p><新エネルギーセミナー in 福山></p> <p>1. 講演</p> <p>1) 「太陽光発電の技術と動向」 (独)産業技術総合研究所 太陽光発電研究センター 櫻井 浩一郎 氏</p> <p>2) 「市民ファンドによるオンサイト太陽光発電事業の紹介」 備前グリーンエネルギー(株) 業務部長 松本 照生 氏</p> <p>3) 「新エネルギー導入への取組と福山太陽光発電所計画について」 中国電力(株) 経営企画部門 マネージャー 藤原 英明 氏</p> <p>4) 「太陽光発電の導入促進について」 中国経済産業局 資源エネルギー環境部 エネルギー企画担当係長 佃 朋之 氏</p> <p>5) 「広島県施策紹介」 広島県 環境県民局環境部 環境政策課 環境学習推進グループ主査 青山 秀雄 氏</p>				

日程	11月1日	会場	岡山県コンベンションセンター	参加者数	177名
概要	<p><おかやま環境未来都市づくりシンポジウム></p> <p>1. 講演</p> <p>1) 「地方都市におけるスマートコミュニティ」 東京工業大学 大学院 教授 柏木 孝夫 氏</p> <p>2) 「太陽光発電による地方都市づくりへの貢献」 (独)産業技術総合研究所 太陽光発電研究センター センター長 近藤 道雄 氏</p> <p>3) 「地方都市における環境未来都市づくり」 (パネルディスカッション) コーディネーター: 中国経済産業局資源エネルギー環境部長 山形 浩史 氏 パネリスト: (独) 産業技術総合研究所 太陽光発電研究センター長 近藤 道雄 氏 両備ホールディングス(株) 代表取締役社長 小嶋 光信 氏 岡山県 地球温暖化対策室長 矢吹 周平 氏 (独)新エネルギー・産業技術開発機構 スマートコミュニティ部主査 多田 佳史 氏</p>				
日程	12月17日	会場	米子商工会議所	参加者数	95名
概要	<p><地域資源を活用した低炭素社会づくり></p> <p>1. 講演</p> <p>1) 「木質バイオマスによる低炭素社会の実現と地域の活性化」 筑波大学 名誉教授 熊崎 実 氏</p> <p>2) 「簡易型エタノール製造装置の開発とエタノールリサイクル構築について」 NPO法人しまねバイオエタノール研究会理事長 和泉 敏太郎 氏</p> <p>3) 「雨水循環型緑化システムによるCO2生物的固定技術の実証モデル事業」 ガイア協同組合理事長 本田 逸男 氏</p> <p>4) 「木質バイオマスシステム構築は徹底した地域システムで」 NPO法人土佐の森・救援隊事務局長 中嶋 健造 氏</p>				
日程	1月14日	会場	THE GRAMERCY	参加者数	78名
概要	<p><次世代エネルギーセミナーin周南></p> <p>1. 講演</p> <p>1) 「動物園で学ぶ地球環境～動物との共生に向けた取り組み」 旭川市旭山動物園園長 坂東 元 氏</p> <p>2) 「エネルギー施策の最近の動向について」 中国経済産業局 資源エネルギー環境部 エネルギー企画担当参事官 増本 勲 氏</p> <p>3) 「周南市次世代エネルギーパーク計画」 周南市徳山動物園 飼育展示一係 主査 獣医師 木原 一郎 氏</p> <p>4) 「バイオマスタウン真庭の挑戦」 真庭市産業観光部バイオマス政策課</p> <p>5) 「山口県における森林バイオマスエネルギー利活用の取り組み」 山口県農林水産部森林企画課 主幹 宗東 徹 氏</p>				
日程	2月11日	会場	ニューウェルシティ出雲	参加者数	68名
概要	<p><新エネルギーセミナーin出雲></p> <p>1. 講演</p> <p>1) 「エネルギー自給から考える地域活性化」 千葉大学 法経学部 教授 倉阪 秀史 氏</p> <p>2) 「スマートコミュニティを目指したNEDOの活動」 (独)新エネルギー・産業技術開発機構 スマートコミュニティ部 諸住 哲 氏</p> <p>3) 「出雲市次世代エネルギーパークについて」</p>				

	<p>出雲市 産業観光部 産業振興課 主事 嘉本 学 氏</p> <p>4) 「新出雲風力発電所について」 (株)新出雲ウインドファーム 新出雲風力発電所 所長 長谷川 幸司 氏</p> <p>5) 「森林バイオマス利用による低炭素社会に向けた取組」 島根県 農林水産部 林業課 調整監 吉田 誠二 氏 中国電力(株)火力発電保修担当 マネージャー 講武 寛之 氏</p>
--	-----------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------

【新エネルギー事業塾】

グリーン・エネルギー事業を地域で具体的に導入していくための勉強会・検討会として「新エネルギー事業塾」を開催しました。内容は、新エネルギー事業を成功させるため、あるいは新エネルギー事業を拡大するために必要な課題解決方法等の検討を行いました。

日程	11月1日	会場	岡山県コンベンションセンター	参加者数	177名
概要	<p>(再掲) <おかやま環境未来都市づくりシンポジウム></p> <p>1. 講演</p> <p>1) 「地方都市におけるスマートコミュニティ」 東京工業大学 大学院 教授 柏木 孝夫 氏</p> <p>2) 「太陽光発電による地方都市づくりへの貢献」 (独)産業技術総合研究所 太陽光発電研究センター センター長 近藤 道雄 氏</p> <p>3) 「地方都市における環境未来都市づくり」 (パネルディスカッション) コーディネーター: 中国経済産業局資源エネルギー環境部長 山形 浩史 氏 パネリスト: (独)産業技術総合研究所 太陽光発電研究センター長 近藤 道雄 氏 両備ホールディングス(株) 代表取締役社長 小嶋 光信 氏 岡山県 地球温暖化対策室長 矢吹 周平 氏 (独)新エネルギー・産業技術開発機構 スマートコミュニティ部 主査 多田 佳史 氏</p>				
日程	11月29日	会場	中国経済産業局	参加者数	32名
概要	<p><採算性向上研究会></p> <p>1. 講演</p> <p>1) 「市民ファンドを活用した太陽光発電事業の紹介」 備前グリーンエネルギー(株) 業務部長 松本 照生 氏</p> <p>2) 「鳥取県のJ-VERの取組について」 鳥取県農林水産部 森林・林業総室 農林技師 西村 昌教 氏</p> <p>3) 「太陽光発電を活用した新たなビジネスモデル～グリーン電力供給サービス、事業化事例～」 ネクストエナジー・アンド・リソース(株) SI事業本部 企画運営部 取締役部長 藤村 清隆 氏</p> <p>4) 「新エネルギー導入に関する関連施策」 資源エネルギー庁 省エネルギー・新エネルギー部 新エネルギー対策課 再生可能エネルギー推進室 係長 山下 洋司 氏</p> <p>5) 「中国地域における電気自動車の導入促進について」 中国経済産業局 資源エネルギー環境部 エネルギー企画担当 課長補佐 閑田 英敬 氏</p>				

日程	2月18日	会場	中国経済産業局	参加者数	27名
概要	<バイオマスエネルギー研究会> 1. 講演 1) 「中国地域木質バイオマス発電利用等実態調査結果中間報告について」 (株) エブリプラン 地域プロジェクト推進室 主任研究員 星加 建二 氏 2) 「森林バイオマス利用による低炭素社会に向けた取組について」 中国電力(株) 電源事業本部(火力発電保修) マネージャー 講武 寛之 氏 3) 「PKS(パーム椰子種子殻)短期燃焼テスト結果について」 (株) トクヤマ 徳山製造所 動力部技術課 主任 立野 誠司 氏 4) 「木質バイオマス発電の実態と可能性」 中国経済産業局 資源エネルギー環境部 エネルギー企画担当 参事官 増本 勲 氏 5) 「再生可能エネルギーの熱利用等」「再生可能エネルギーの全量買取制度」 中国経済産業局 資源エネルギー環境部 エネルギー企画担当 課長補佐 閑田 英敬 氏				
日程	2月25日	会場	松江テルサ	参加者数	25名
概要	<風力エネルギー研究会> 1. 講演 1) 「風力発電を取り巻く最近の動向について」 原子力安全・保安院 電力安全課 電力班建設係 係長 飯田 健治 氏 2) 「中国地域における風力発電の現状と課題」調査報告 原子力安全・保安院 中国四国産業保安監督部 電力安全課 自家用火力係 西村 裕希 氏 3) 「風力発電の保守について」 イオスエンジニアリング&サービス(株) 取締役副社長兼安全衛生部長 石塚 紀雄 氏 4) 「風力発電普及施策紹介」 中国経済産業局 資源エネルギー環境部 エネルギー企画担当 調査官 藤原 雅子 氏				

4) 協働による試行事業

地域に新たな仕組みやネットワークの構築により新エネルギー事業を行うためのモデルとすべく、①新エネルギー導入コストを緩和する仕組みづくり、②バイオマスを地域ぐるみで収集するためのネットワークづくり、③新エネルギー事業を地域に広げていくためのシステム化などの観点から、事業化を想定してその事業の具現化と普及啓発のための活動として、(社)中国地方総合研究センターと連携して実施しました。

日程	3月4日	会場	山口県農林総合技術センター他	参加者数	23名
概要	<山口県における木質バイオマス供給構造(ネットワーク)構築事業> 1. 木質バイオマスの収集・運搬に関する講習 ・テーマ:「重機作業時における安全対策および低コスト運搬について」 ・講師:(株)宮原土木建設 代表取締役 宮原 清太 氏 2. 施設見学会 ・飯森木材(株) ・中国電力(株)新小野田発電所				

5) コーディネーターによるマッチング事業

バイオマスのケミカル・マテリアル利用に関する豊富な知識・経験を有するとともに、広域的な

人的ネットワークを有し地域企業を熟知し、地域内の大学との密接な繋がりを持ち、自治体や産業支援機関との関係強化を果たせる者として、チーフコーディネーターとコーディネーターの2名を採用し、エリア内外のネットワーク構築を行いながら、新規事業創出に向けて、担い手の発掘、ビジネスマッチング、事業立ち上げを進めることによりその仕組みづくりと連携体制の構築を推進しました。

6) 動画活用による販路開拓支援

固有技術の背景や価値などを伝える新たな販路開拓手法として、映像（動画配信）活用による販路ツールの展開を推進しました。

本事業の活動を動画で情報発信した結果、海外や他地域との商談・連携が進みました。

7) バイオマス関連企業のPR用DVDの作成

ビジネスマッチングの成果・精度を更に向上させるため、バイオマス関連企業の技術・商品の紹介・PRを行うためのDVDを制作しました。

(3) 中国地域バイオマス協議会

(独) 産業技術総合研究所中国センターとの共同運営で、バイオマス関係の活動の更なる促進を目的に下記事業を実施しました。

日 程	3月 9日	会 場	八丁堀シャンテ	参加者数	総会：32名 セミナー：52名
概 要	<p>【総会】</p> <p>1. 内容</p> <ul style="list-style-type: none"> ・22年度活動報告 ・今後の活動について <p>【木質バイオマス利活用セミナー】</p> <p>1. 講演</p> <ol style="list-style-type: none"> 1) 「『バイオマスタウン真庭』の取り組み」 真庭市 バイオマス政策課 参事 長尾 卓洋 氏 2) 「山口県における森林バイオマスエネルギー利活用の取り組み」 山口県 森林企画課 森林バイオマス推進班 主任 山田 隆信 氏 3) 「バイオマス・ファインケミカルズ・リファイナリーシステム分科会の活動報告」 (社)中国地域ニュービジネス協議会 チーフコーディネーター 竹内 善幸 氏 <p>2. 産総研バイオマス研究センターの研究シーズ等の紹介</p> <ol style="list-style-type: none"> 1) 「バイオマス研究センターの概要」 (独)産業技術総合研究所中国センター バイオマス研究センター 研究センター長 坂西 欣也 氏 2) 「研究シーズ紹介」 <ul style="list-style-type: none"> ・セルロースナノファイバーの応用展開 水熱・成分分離チーム長 遠藤 貴士 氏 ・バイオマス評価技術シーズと活用事例 バイオマスシステム技術チーム長 箕濃輪 智朗 氏 				

(4) 中国地域新技術・新製品展示商談会

中国経済産業局、中国地域5県の産業振興財団、(独)中小企業基盤整備機構と連携し、中国地域の自動車関連部品企業を集め、自動車メーカーに対する展示商談会を実施しました。

【自動車メーカーに対する展示商談会 実績】

日 程	会 場	参加企業数	来場者数
11月30日～12月1日	ダイハツ工業（株）	34社（機関）	413名
12月3日	マツダ（株）	45社（機関）	1,492名

2. サービス産業支援

【中国地域CB／SB推進協議会事業（コミュニティビジネスネットワーク構築事業）】

本事業は、少子高齢化や環境など様々な社会的課題をビジネスとして解決する活動である「コミュニティビジネス／ソーシャルビジネス（CB／SB）」の推進に取り組み、新産業の創出や地域経済の活性化・雇用創出等に貢献するとともに、本事業で構築したネットワークを活用することで、中小企業の支援を行うことを目的とします。経済産業省が20年度から3カ年計画で推進するもので、弊協議会は初年度から受託し、運営しています。（22年度は最終年度）

(1) 中国地域CB／SB推進協議会・サポートセンターの運営

CB／SBに関する有識者や関係者等で構成する同協議会の決定機関である「幹事会」を運営するとともに、連携先である「ひろしまNPOセンター」にサポートセンターを設置し、中国地域のCB／SB事業者等外部関係者との総合的な窓口として、情報収集・情報提供・相談対応などをワンストップで実施しました。

(2) 全国レベルでの連携

同協議会は、全国9地域に設置されており、中国地域を超えた全国レベルでの活動を展開しました。また、中国地域5県にもでも同様の主旨で活動する団体とのネットワークを構成し（地域委員会）、各県の活動と連携を図りながら活動しました。本取り組みを通じ、中国地域各県でのCB／SBへの取り組みが強化されました。

(3) 社会的な認知度向上に向けた取組

1) 推進フォーラムの開催

中国地域全体の活性化や認知度向上を図るとともに、ソーシャルの観点からのビジネスマッチングの推進を目指してフォーラムを開催しました。

【開催概要】

- ・開催日：12月20日（月）
- ・会 場：広島八丁堀シャンテ
- ・参加者数：105名
- ・プログラム：
 - 基調講演：講 師 池内タオル（株） 代表取締役 池内 計司 氏
 - 見本市出展者代表挨拶
中国地域CB／SB推進協議会副幹事長 工房おのみち帆布理事長 木織 雅子 氏
 - シンポジウム『「ソーシャルビジネスを経営にどう活かすか」
コーディネーター：中国地域CB／SB推進協議会幹事長 吉長 成恭 氏

パネラー：(株) カスタネット代表取締役社長・社会貢献室長 植木 力 氏
 (株) アットマーク・ラーニング代表取締役 日野 公三 氏
 NPO法人日本エコツーリズムセンター代表理事 広瀬 敏通 氏
 池内タオル (株) 代表取締役 池内 計司 氏

2) 地域セミナーの開催

中国地域各県での活性化や認知度向上等を図るため、各県で計6回開催しました。

(参加者数計：530名)

【鳥 取】

日 程	2月5日	会 場	とりぎん文化会館 (鳥取市)	参加者数	300名
概 要	<p> ■鳥取力創造まつり (協賛) <input type="checkbox"/> 「鳥取力」創造運動活動表彰『公開コンテスト』、創造運動活動表彰式 <input type="checkbox"/> トークセッション <ul style="list-style-type: none"> ・テーマ 「これからの地域活性化と鳥取力」 ・講師1 C. W. ニコル氏 (作家) ・講師2 平井 伸治 氏 (鳥取県知事) ・コーディネーター 福浜 隆宏 氏 (日本海テレビアナウンサー) <input type="checkbox"/> 分科会 各分科会で2～3の事例を紹介し、各テーマについてコーディネーターを中心に議論した。 総括コーディネーター：NPO法人コミュニティ・サポートセンター神戸理事長 中村 順子 氏 </p> <p> 【第1分科会】 <ul style="list-style-type: none"> ・テーマ：「街に賑わいを取り戻そう (中心市街地活性化)」 ・コーディネーター：NPO法人未来 事務局次長 麻田 雄一 氏 ・事例発表 智頭街道商店街振興組合理事長/街づくり(株)いちろく代表取締役 常村 護 氏 (株)笑い庵 取締役専務 後藤 秀一 氏 </p> <p> 【第2分科会】 <ul style="list-style-type: none"> ・テーマ：「みんなが生き生き暮らせる中山間地域 (中山間地域振興)」 ・コーディネーター：(有)地域未来 代表取締役 杉原 幹雄 氏 ・事例発表 駅前活性化事業委員会 委員長 平木 修 氏 とっとり地域連携・総合研究センター 中山間地域活性化支援員 水田 まき 氏 </p> <p> 【第3分科会】 <ul style="list-style-type: none"> ・テーマ：「明るく元気のある自治会を目指して (自治会活動)」 ・コーディネーター：若葉台地区副会長 福井 正樹 氏 ・事例発表 福部町駅前地区 前区長 平川 優 氏 加茂地区5区中自治会 自治会長 椿 正昌 氏 西郷地区振興協議会 事務局長 (西郷公民館長) 牧野 紀史 氏 </p> <p> ■無料相談会 (主催) 事前申込制にて以下の相談員が相談対応を行った。 <ul style="list-style-type: none"> ・(株)アイ・エス・シー ソーシャルビジネス推進部顧問 福井 正樹 氏 ・(株)アミタ持続可能経済研究所 社長付事業統括ディレクター 藤原 明文 氏 ・アミタホールディングズ(株)カンパニーデザイン室企画統括ディレクター 松本 剛 氏 ・アミタ (株) 循環社会センター 企画グループ主任 角新 支朗 氏 </p>				

【島 根】

日 程	7月8日	会 場	浜田ワシントンホテルプラザ (浜田市)	参加者数 (計108名)	46名
	9日		サンラポーむらくも (松江市)		62名
概 要	テーマ：「コミュニティビジネスで地域を変える！」 講師：(株)エンパブリック代表取締役 広石 拓司 氏 プログラム ・コミュニティビジネスとは ・コミュニティビジネスを始めるにあたって ・コミュニティビジネスの事例				

【岡 山】①

日 程	1月30日	会 場	ゆうあいセンター (岡山市)	参加者数	63名
概 要	テーマ：「真に求められている支援を考える」 ～事業者と支援者の創造的な関係構築とは～ 講師：(株)イドム代表取締役 小出 宗昭 氏 プログラム ・支援のあり方について ・支援事例の紹介 ・起業に当たっての心構え				

【岡 山】②

日 程	2月13日	会 場	勝山文化往来館「ひしお」 (真庭市)	参加者数	39名
概 要	テーマ：「地域再生最先端」～海士町から学ぶ地域づくりと人づくり～ 講師：海士町高校魅力化プロデューサー 岩本 悠 氏 プログラム ・海士町の取り組み ・魅力ある商品づくり（ブランド化） ・魅力あるヒトづくり				

【山 口】

日 程	11月11日	会 場	防府市地域協働支援センター (防府市)	参加者数	20名
概 要	テーマ：「『地域密着型』の子育て情報誌発行で子育て文化や社会に変化が」 講師：(株)フラウ代表取締役社長 濱砂 圭子 氏 プログラム ・CB/SBの現状について ・講演・情報交換会				

3) ポータルサイトの運営・メルマガの発信

推進協議会専用のホームページを運営し、CB/SBの啓発および活動報告等を情報発信しました。また、中国地域内外で開催される各種イベント、セミナー、助成金等の情報、中国地域CB/SB推進協議会会員からの情報等を提供するメルマガジンを、月1回程度配信しました。(発信回数：8回)

(4) CB/SBに携わる人材育成

CB/SB事業者および起業を目指す人材の育成を目的とし、「輝業塾2010」を開講しました(全5回講座)。実施概要は以下のとおり。

回	日 程	概 要
1回	10月21日	<ul style="list-style-type: none">・テーマ：四画面思考の基本を学ぶ・講師：北陸先端科学技術大学院大学 客員教授 近藤 修司 氏・概要：座学とワークショップによる学び・ファシリテーター(全回共通) NPO法人ひろしまレクリエーション協会会長 鍋島 一仁 氏・メンター(全回共通) コンサルファーム21協同組合 代表理事 馬場 宏二 氏 丸の内企業塾 講師(MBA) 馬上 清治 氏
2回	11月25日	<ul style="list-style-type: none">・テーマ：第1期卒業生によるモデル事例発表『四画面シート編』・講師：NPO法人コーチズ 代表理事 児玉 宏 氏・概要：塾生による四画面シートの作成・ワークショップ
3回	12月16日	<ul style="list-style-type: none">・テーマ：第1期卒業生によるモデル事例発表「改革実践提案書編」・講師：NPO法人コーチズ 代表理事 児玉 宏 氏・概要：「改革実践提案書」の作成・ワークショップ
4回	1月26日	<ul style="list-style-type: none">・テーマ：成功に向けたスキルの向上(メンターによる講義)①「イノベーションと新規事業の成功要因」(講師：馬上 清治 氏)②「プレゼンテーション力向上の秘訣」(講師：馬場 宏二 氏)・概要：塾生による「改革実践提案書」を用いた模擬プレゼンテーション
5回	2月24日	<ul style="list-style-type: none">・テーマ：一人ひとりの「夢」を現実に近づける・講師：北陸先端科学技術大学院大学 客員教授 近藤 修司 氏・概要：塾生によるプレゼンテーションと近藤先生・メンター・他の塾生からのアドバイス

(5) 事業者間マッチングの促進支援

CB/SB事業者の協働関係づくりおよび活動のPR支援を目的とし、事業者へのヒアリング結果をHPへ掲載しました。内容は、協働のモデル事例としての「協働の事例」と、実際にパートナーを募集している団体を「パートナー募集中」を区分して掲載しており、CB/SBに取り組みたい団体が、事例やパートナーを募集するのに役立つ構成としています。

(6) 今後の事業展開

これまでの体制・メニューを、ひろしまNPOセンターと当協議会が、それぞれの資源・ネットワークを活用しながら維持します。

V. 体制整備

1. 組織強化とインフラの充実

(1) 中国NBCのPR、体制強化(各種ツールの整備)

今年度は、事務局員9名(会員企業からの出向社員7名、プロパー職員2名)が、「支部活性

化」をひとつの目標に掲げ、会員訪問やイベントの開催など支部の状況に応じた活動や国からの受託事業の執行を積極的に展開しました。具体的には、

- ・会員様を訪問させていただくことで会員様の事業内容等の情報を収集・蓄積し、他の企業と積極的にマッチングを図る
- ・支部講演会・セミナーを、支部の核となる会員企業様とともに企画・検討しながら開催し、会員様の実業や自己啓発の一助としていただくとともに、交流会等でネットワークを拡大していただく
- ・表彰事業やWin-Winといった当協議会ならではの事業を、前回の状況を踏まえながらブラッシュアップして開催し、前回よりもさらに効果的にビジネス拡大していただく
- ・国からの受託事業をプロパー事業と並行して実施し、関連する会員様に具体的なメリットを得ていただくとともに、新規会員獲得につなげる。そして中国地域経済の発展に貢献する
- ・HPやメールマガジンを活用し、国や関係機関、会員様の有意義な情報をタイムリーに発信することで、会員様の実業に役立てていただく
- ・協議会の活動状況を、都度HPやメールマガジンに掲載・発信し、当協議会の活動の「見える化」を推進することで、既存の会員様の「新しい仲間」（新規会員）を増やすなど、一社・ひとりでも多くの会員様にメリットを得ていただき、中国地域のニュービジネスや経済の振興に結びつくよう、活動いたしました。

当協議会が他の経済団体と異なる点は、「身のこなしの軽さ」だと考えております。「こんな新しい商品を開発したのだが」、「こうした新しいビジネスを考えているのだが」など、具体的な情報や相談をいただければ、事務局はともに知恵を絞り、何らかの形で貢献することが可能だと考えております。まずは当協議会へのアプローチをお待ちしております。

（２）法人制度改革への対応

平成24年度内の申請に向け、公益社団法人・一般社団法人のメリット・デメリットの整理や他団体の状況に関する情報収集など、具体的な検討を行っています。